

(Japanese)

### 渡辺恂三の造形—その強迫観念

少年時代に軍国主義日本を生きた渡辺恂三は、戦後の激変する人々の姿を目の当たりにした。

大衆運動に戦後のリアリティーを求めた彼は、群衆となった人間たちにも答えを見出せなかった。左翼思想の密告、謀殺、誰もがスパイ、という権力闘争に人間のおぞましい本性を見てとった彼は、深い諦念の中で個を取り戻すべく絵描きとなる決心をした。

根深い人間不信から始まる作家精神はこの世の決まりごとの全てを疑い、実は真実は逆の側に有るのではないかと考える。人間は真実と幸せを目指しながら実は正反対の方向に歩いている、この不条理と恐怖が彼の作風を決定し襲いかかってくる群衆を恐れ続けることになる。

1970年代の Paris の地下鉄に行き交う群衆表現から、1980年代の特異な具象表現に到るまで一貫してフォルムの追求が為され、日本現代美術に異端な軌跡を刻んでいます。

抽象絵画全盛の時代に日本独自の新表現主義を歌い、内から発するものを忠実に造形として表現した貴重な才能の独創を紹介いたします。

横井 彬 (春風洞画廊 代表取締役社長)

(Chinese)

### 渡辺恂三的造型—其強迫思维

少年时期饱受日本军国主义洗礼的渡辺恂三，目睹了战后处于巨变当中的人们的境遇。

企图从群众运动中寻找战后真实感的渡辺恂三并未从作为群众的这些人中找到答案。在左翼思想的告密、谋杀、人人都是间谍等权力斗争中，他看到了丑恶的人性。在绝望中，他毅然决定踏上绘画之路，去寻找迷失的自我。

基于对人极度不信任的艺术家精神，使他质疑世间的所有规则，甚至还认为真相恰是与事实相反的。

人们追寻真理和幸福，实际上却与之背道而驰。这种有悖常理的逻辑及恐怖形成了其作品的风格。在其作品中，对席卷而来的人群永远充满着恐惧。

从上世纪 70 年代描写巴黎地铁站内人来人往的作品表现，到 80 年代与众不同的具象描绘，渡辺恂三始终保持着对表现形式的追求，并在日本当代美术中刻上了不寻常的印迹。

在此，我们将为您介绍渡辺恂三独创的艺术才能，这种不可多得的才能讴歌了抽象派绘画全盛时期的日本独有的新表现主义，并通过造型来忠实体现发自内心的情感。